

かわら版 ”とちぎのまちの駅”

第5号 2004.10.15

発行人 まちの駅ネットワークとちぎ(ま・ね・とち)

吉田恵子 manetochi@mbn.nifty.com

§ 全国まちの駅総会、盛会でした！ §

第6回全国まちの駅総会・勉強会が、10月9～10日、宇都宮大学で開催されました。当日は台風22号による強い雨と強い風。嵐の中での総会となりました。

でも、全国の駅長さんはじめ、まちづくりリストはさすがです。

雨にも負けず、風にも負けず、北は北海道・岩手・福島・新潟・富山から、南は岡山・島根・高知・福岡・鹿児島まで、飛行機に乗り、新幹線に乗り、宇都宮まで来てくださいました。

「今日の旅行はやめてくださいって、駅でアナウンスしてたけど、とりあえず行けるところまでは行こうと思って来ました」と言っていた女性は岡山から。まちを愛する心、まちの駅を大切に思う心、があればこそ、なんでしょうね。

さて当日、印象に残った言葉から。

「『人にやさしいまち』ではなく『人がやさしいまち』をつくっていきましょう」
(日本イベント産業振興協会・宮地克昌さん)

「道の駅では日本は変わらない。でも『まちの駅』には日本を変える力がある！」
(新潟県見附市長・久住時男さん)

「まちの駅の看板は、まちづくりに欠かせない3人の「人」をかたどっている。

わかもの	年齢が若い人	= 行動力のある人
よそもの	よそから来た人	= 広い視野を持っている人
ばかもの	バカ	= 純粋な心を持っている人

今日からは、こう解釈しようと思う」

(地域交流センター・田中栄治代表)

まちづくりの悩みを抱え、遠路はるばる東出雲からやってきた女性も、全国の仲間元気もらって、笑顔で帰っていかれました。

「今度は私の駅に遊びにきてください」、「今度、一緒に何かやりましょう」。そんな声が会場のあちこちから聞かれました。

人・人・人の縁が、まちの駅の底力なのかもしれません。

「かわら版」への情報提供、お待ちしております。